



2022年1月31日

各位

会社名 J B C Cホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 東上 征司
 (コード番号 9889 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経営企画担当 岸本 肇
 (TEL 03-5714-5171)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2021年5月11日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	58,500	2,800	2,850	1,900	117.72
今回発表予想(B)	55,000	3,000	3,100	2,050	127.21
増減額 (B-A)	△3,500	200	250	150	—
増減率 (%)	△6.0	7.1	8.8	7.9	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	60,042	2,603	2,726	1,931	120.20

(修正の理由)

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)においては、当社グループ独自のトータルITサービス“HARMONIZE”の中核事業として位置付ける超高速開発(新しい手法によるシステム開発)、クラウド、セキュリティが順調に伸びました。これら注力分野であるクラウド、セキュリティの新規受注の拡大や、SIにおいて従来の開発手法から付加価値の高い超高速開発手法へのシフトを進めたこと、また、販売管理費の最適化もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については当初予想を上回る見通しです。

一方、ストックビジネス拡大を目指す中、当社の価値を訴求できるクラウド提案を推進したこともありハードウェア販売が減少し、売上高は当初予想を下回る見込みです。

なお、当社グループは、テレワークも含めた新しい働き方の実現に向け、来年度にかけ順次首都圏のオフィス統合を実施することといたしました。このため、当第3四半期連結累計期間及び第4四半期連結累計期間において移転に伴う臨時償却費用等が発生する見込みであり、業績予想にも反映いたしました。

以上の状況を踏まえ、通期連結業績予想につきまして、上記の通り修正することといたしました。

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上